

# 19年度 第7回子育て・環境・魅力づくり部会

□開催日時 平成20年1月31日(木) 午前10時~11時15分

□会場 幸区役所5階旧建築課スペース

□参加委員

専門部会B委員：今井部会長、松世副部会長、小保方委員、酒井委員、庄司委員、  
菅野委員、成田委員、根本委員

事務局(総務企画課)：高橋主幹、北村主査、小出職員、吉田職員

□議題

1. 「地域でのごみ減量化・リサイクル」について
2. その他

## 1. 「地域でのごみ減量化・リサイクル」について

(事務局)

前回、小保方委員から不法投棄に関して質問があったので、回答したい。ホームページから抜粋した資料を配布した。ポイ捨て禁止条例に基づいた罰則があるが、重点地区のみが対象となる。

粗大ごみの不法投棄については、市の条例ではなく国の法律に基づいて罰せられる。現行犯のみ。見かけたときには生活環境事業所へ連絡してほしい。これは陸上での話で、海については海上保安庁が対応することになる。

(今井部会長)

2月14日の区民会議に向けて、前回の専門部会の内容を確認し、具体的な取組みをまとめ、区民会議での報告者を決定したい。前回までの内容確認を松世副部会長からお願いしたい。

(松世副部会長)

お手元の資料に沿って説明したい。

前回の区民会議では、課題、ごみ減量・リサイクルの現状、検討の方向性について報告し、検討の方向性として、3つの取組みを進めていくこととした。取組み1は「ごみを減らす取組みとして(レジ袋)ではなくマイバッグを利用しましょう」、取組み2は「出前ごみ講座等を開催して、地域で3Rの取組みを知ってもらいましょう」、取組み3は「地域での資源集団回収を広めましょう」であった。

前回の専門部会での意見も掲載しているので、これらをもとにして、まとめていきたい。

(菅野委員)

資源集団回収に参加するためには、規定や条件はあるのか。

(事務局)

特にはない。生活環境事業所を通じて登録してもらえば参加できる。ただ、事業者は除かれる。

(菅野委員)

以前の資料では、団体が多い地域ほど、回収量が多くなっている事実があるので、回収団体を増やすということも追加して欲しい。

(今井部会長)

とてもいい意見なので、盛り込んでいきたいと思う。

では、取組み1について、もう少し具体的に議論を深め、整理したい。

(庄司委員)

マイバッグをだれと一緒にどこで使うのかということを見ると、商店街ということになるのではないかと。例えば、ポイントカードにしても、どこまで協力してもらおうのか等、もう少し区民会議として中身をつめていきたいと思う。やってみようというきっかけをつくるものを提案したい。すぐにできるところ、できないところとあると思うが、呼びかけてモデル的に実施していきたい。商店街に負担がかからずに、プラスになるものを提案したい。例えば、モデル的に実施していることを広報することは知名度も上がるし、プラスになると思う。

(今井委員)

積極的に協力してもらえそうな仕掛けが必要。ただ、スタンプひとつとっても、負担になるという意見を聞いたことがある。とりあえず、商店街と協力していきたいということになるだろう。

(菅野委員)

大手スーパーの協力は難しいだろう。基本的に本社からの指示で動くので、商店街とはかかわりがない。地縁で個人的に協力してくれる人はいるみたいだが。

(今井部会長)

例えば、社として取組んでいるイオンならば協力を得られるかもしれない。そういう方向でやっていけたら、という柔らかい感じで提案していけばいい。

(松世副部会長)

マイバッグのステッカーやチラシをはって、呼びかけてもらうだけでもいい。

(今井部会長)

公的なものでも、チラシは難しいようだ。仕事に関係のないチラシは店舗の判断ではできないらしい。

(庄司委員)

スーパーでもレジ袋削減に努めているので、むしろ、きちんとお願いすればできるのではないか。商店街との協力については、話し合っていく中で、店側の負担が少ない方法が形になっていけばいい。

(今井部会長)

取組み1としては、商店街や大型店の協力をいただいて、できるところからやっっていこうというのでどうか。それでマイバッグの利用を促進していく。

(松世副部会長)

地球環境にもかかわってくる話ですからね。

(庄司委員)

今回のテーマは、どんな「環境」を次の世代に残していくのかということを中心に前面に出していけば、商店街でも考えている人が多いので、賛同を得られるのではないか。

(今井部会長)

では、次に取組み2について、御議論いただきたい。

(根本委員)

出前ごみ講座を区としてやらないと、意識が徹底されない。幸区でやれば、他区にも波及するのではないか。やり方は、商店街、学校や町内会ごとに変えていけばいい。協働でやっっていかなないと、単独ではなかなか難しい。

(今井部会長)

「様々な団体と協働して、出前ごみ講座の開催回数を増やしていきましょう」等としてはどうか。あと、出前ごみ講座に出たら、ミックスペーパー用の紙袋をもらえるようにしたらいい。その袋にミックスペーパーとは何かということを印刷すると、効果が出るのではないか。

(松世副部会長)

将来的には、袋が定着して各家庭にあれば、より出しやすくなるのでは。

(酒井委員)

たしかに、何がミックスペーパーなのか分かる方がいい。

(成田委員)

自分で仕分けをすることなく、自然に実行できるといい。

(庄司委員)

ミックスペーパーを再利用するために新たなものをつくって、それをミックスペーパー回収用として利用するというのは、どうだろうか。少し趣旨からはずれるのではないか。

(成田委員)

ミックスペーパー初期の取組みとしては、効果があるとは思う。マイバッグも色々なところで配っているが、なかなか使い勝手がいいものはない。

(菅野委員)

全国的に配っているが、使いづらいものが多い。

(庄司委員)

実は、3月29日に幸市民館日吉分館で出前ごみ講座を開催することになった。抽選をしてマイバッグを配ってもらえることにもなった。あれば、出席の意欲がより高まるのではないか。併せて、内容がわかるパンフレットを作ったの広報も大事だと思う。

(今井部会長)

何か特典があると、目に止まって普及していくのではないか。普及啓発につながる工夫が必要。

(松世副部会長)

何かのイベントの際に併せて開催してもいいのでは。講座のためだけに外出するのも大変だろう。

(今井部会長)

様々なイベントを活用してやっていくと参加しやすい。

(松世副部会長)

公共の場所でやった方が、様々な人が参加しやすいのでは。

(菅野委員)

ただ、色々な意見をもっている人がいるので、その点には留意しないといけない。

(今井部会長)

では、取組み3について、御議論いただきたい。

(松世副部会長)

集団回収の回数や参加団体を増やすことが必要でしょう。

(庄司委員)

既存のところより、新しくできるマンション等に呼びかけた方が、やりやすいのではないか。減退している現状があるので、現在月1回やっているところを週1回にするのは難しいと思う。あと、どこでやっているのかがわからない。

(今井部会長)

その点については、前回までの議論の中でマップを作るという話があった。

(事務局)

環境局で作成しているが、今年の4月からすぐに見られるという段階にはない。もう少し時間がかかるようだ。

(今井部会長)

幸区だけのマップがあれば便利だと思う。

(成田委員)

月1回しか実施していないところは、それなりの事情があるのだろう。それを拾い上げて、啓発していく必要がある。

(今井部会長)

業者も見ることができるので、協力業者とマッチングできるのではないか。細かい情報まで載っていると、使い勝手がいいだろう。

(松世副部会長)

下河原地区では毎年1回、回収場所を回覧している。遠くまで持っていくのはとても手間がかかる。現在は、歩いて1～2分のところに回収場所があるが、そうなるまでは大変だった。

(成田委員)

業者がうまく回れるような地図があるとよい。

(今井部会長)

回収団体を総括的に把握しているところはどこか。

(菅野委員)

環境局だと思う。

(庄司委員)

ごみ減量指導員ならば把握しているのではないか。

(菅野委員)

日吉は、小中学校のPTAが中心になってやっているようだ。

(成田委員)

ただ、助成金を受取ることになるので、そういう取組みに学校とかPTAとかが参加しているのかという意見があった。

(庄司委員)

PTAは役員不足のところが多い中で、資源集団回収という新たな役割をもってもらえるかどうか。

(菅野委員)

回収自体は業者のトラックだが、こども会が実施している地域では、決められた場所まで自分で持っていかないといけないので、負担になる。だから、月1回のところが多いのだろう。

(酒井委員)

うちの地区では毎週やっているが、長年PTAでやってきて、少しずつ場所を増やしてきた。気長にやっていく必要がある。

(根本委員)

団体一覧表があるが、これに載っていない団体もあるのではないか。それを含めてマップにしていく。一覧表は見づらい。

(今井部会長)

地域の方が情報を寄せ合わないと、なかなか難しい。

では、マップを活用して、資源集団回収を増やしていきましょう、ということでどうか。

(菅野委員)

ごみとして処理するより、資源集団回収に出した方が処理経費が安いことを区民にアピールしていくことが重要だと思う。

(庄司委員)

取組み1～3が連動するとよい。

あと、幸区内の各集積所で、取組みを広報するステッカー等をはっていただければいいのでは。

(今井部会長)

それは、区民会議からの提案ということで、区独自でできるのか。

(事務局)

環境局等の関係部署に確認しないといけないが、いい取組みなので、働きかけていきたい。

(今井部会長)

最後に、区民会議での報告者を決めていきたい。

⇒ 松世副部会長、根本委員に決定した。

## 2. その他

(事務局)

3月1日の区民会議フォーラムに向けた企画運営会議のお知らせが、総合企画局から来ているので、紹介します。前回1月の企画運営会議には4区から6名の委員が参加した。2度目のお知らせになるが、是非とも参加してもらいたいとの趣旨です。3月1日のフォーラムについても、参加していただきたいとのことでした。

(今井部会長)

本日は、これで終了します。

⇒ 資料の確認は、事務局と正副部会長、報告者を行うこととなった。